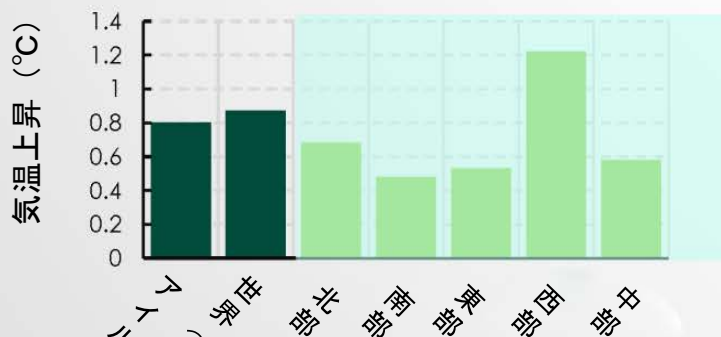


クライメート・アイルランド：
地域が適応するための能力構築
バリー・オドワイヤ&ジェレミー・ゴルト
カレッジ・コーク大学、環境研究所、MaREIセンター（アイルランド）

適応が必要な理由

- アイルランドでは、**気候変動が顕在化している**
- 気候変動の速さと激しさを抑制する努力（緩和）に加えて、**適応**が現在必要とされている
- アイルランドの**国家適応枠組み**では、地域ごと分野ごとでの適応計画の策定を定めている

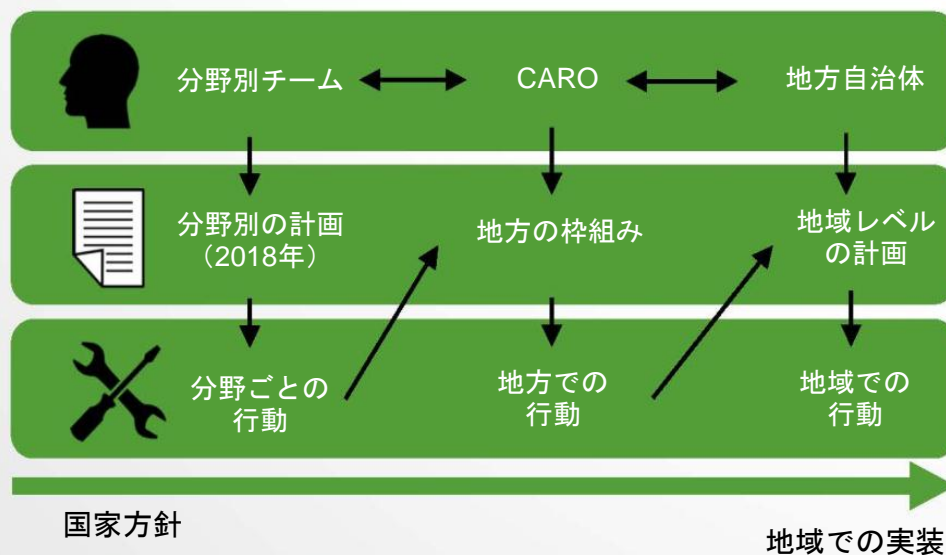
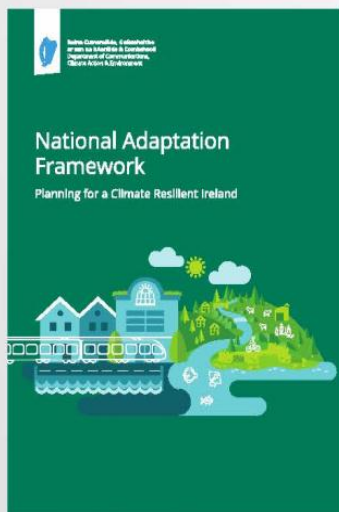
観測された地表温度（°C） 1941～2014年



(写真提供 : Iarnród Éireann)

アイルランドにおける地域での適応

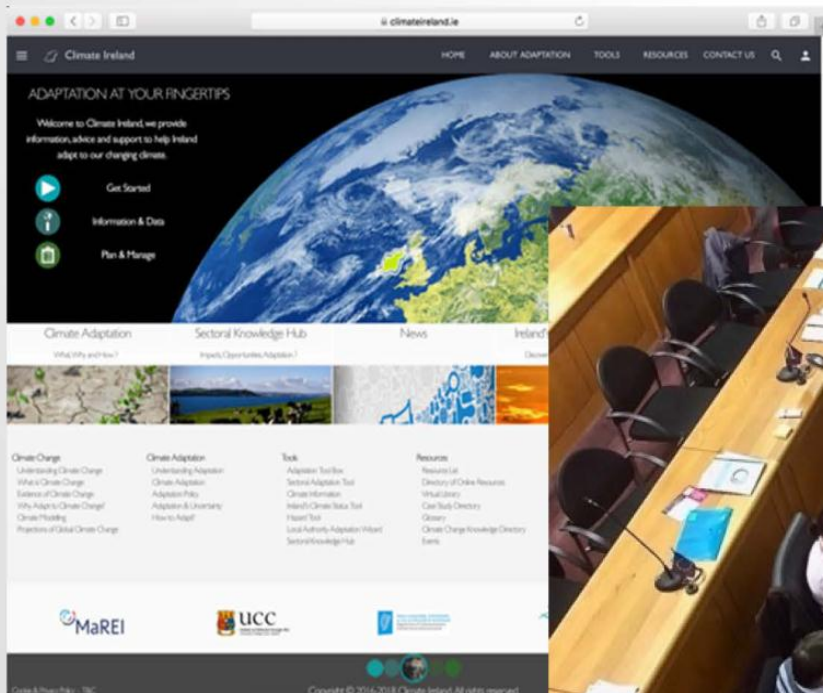
- アイルランドの**国家適応枠組み（2018）**では、（地域および分野別の優先事項を考慮した）**地域適応戦略の策定**を定め、
- 地域適応戦略では、気候変動の負の影響に対する国の脆弱性を低減し、**地方のサービスと機能に焦点を当てながらあらゆる機会を活用**することをめざし、
- **気候行動地方事務局（CARO, 2018年設立）**を通じて整合を図り、
- 地域適応戦略を2019年9月までに策定する。



クライメート・アイルランド：国と地域の 適応方針の鍵となる支援を提供



情報提供：アイルランドの気候
と適応に関するオンライン情報

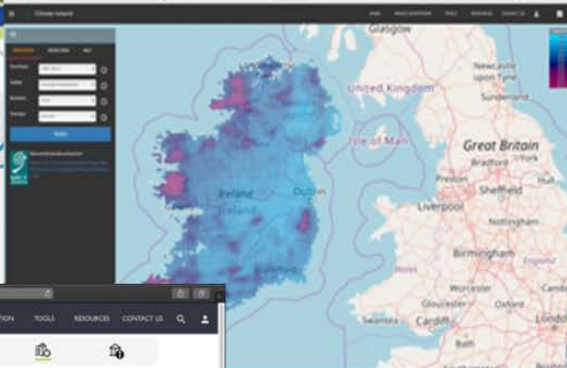
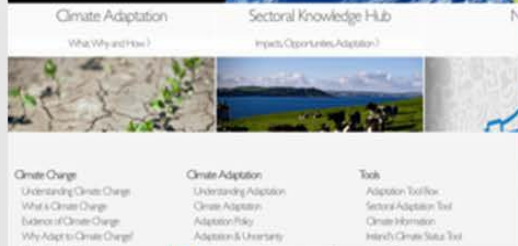


アウトリーチとトレーニング：
能力構築と計画策定の支援





HTTP : //WWW.CLIMATE IRELAND.IE



始める



情報とデータ



計画と管理



アウトリーチと
トレーニング
能力構築と計画
策定の支援



分野



地域

国家適応方針の策定

法定化

▶ 非法定国家気候変動適応枠組み (NCCAF)

2012年12月

▶ 気候行動および低炭素開発法

2015年12月

▶ 国家適応枠組み CARO の設立

2018年1月

▶ 地域適応戦略

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

▶ ICIPフェーズ1

2011年7月

▶ ICIPフェーズ2

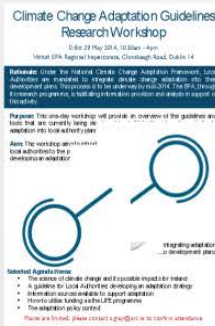
2013年12月

▶ ICIPフェーズ3

2015年12月

▶ クライメイト・アイルランド

2017年12月



能力構築

計画

実装

地方自治体が計画策定時に直面する課題

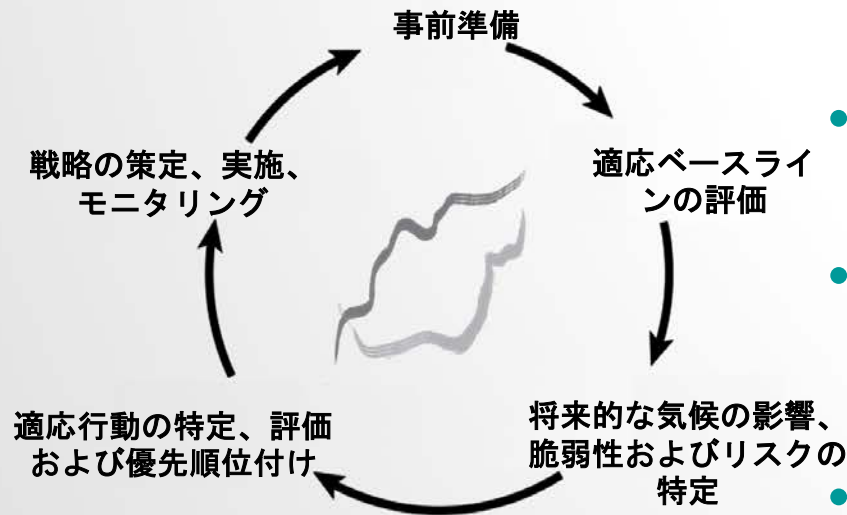
地方自治体が気候や気象に関連する影響を受けやすいことが明らかになっている。

適応計画の策定における主要な課題：

- すべてのガバナンスレベルでの**賛同**が必要であり、
- 単純なタスクではなく、**新たな計画分野**であり、
- すべてのレベルで**リーダーシップ**が要求され、
- 地方自治体の境界を越えた**シナジー（相乗効果）**が求められる。

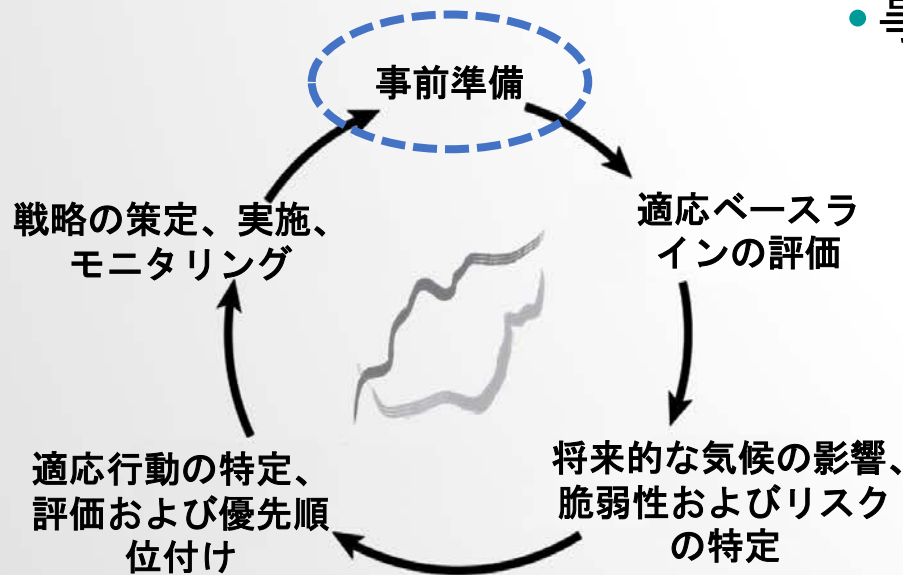


地方自治体適応戦略策定ガイドライン



- **5段階の反復的適応計画サイクルに基づく**
- CAROと個々の地方自治体との**協議により策定する**
- 地方自治体の意思決定プロセスとの**整合をとる**
- 気候変動適応に関する計画策定の**課題を解決**することを目指す

地方自治体適応戦略策定ガイドライン

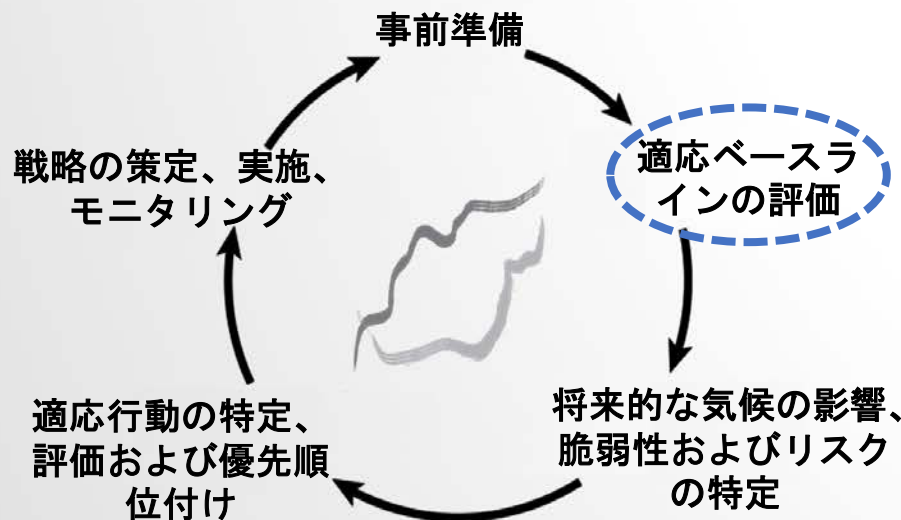


● 事前準備：

- チーム作り（中核となるチームをより広範な計画策定チームがサポート）
- ステークホルダーの関与
- 能力の構築
- 権限や管轄の確認

適応計画の策定には、幅広い知識と専門性が必要である。

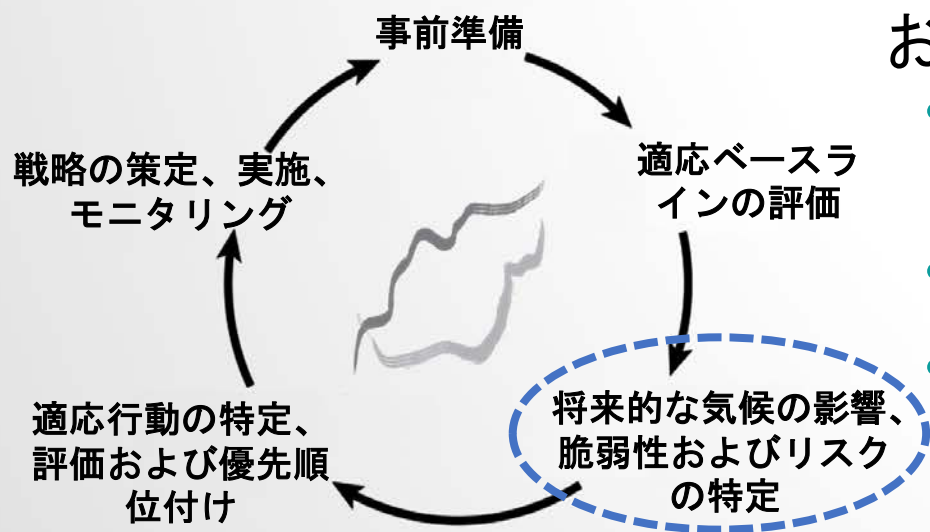
地方自治体適応戦略策定ガイドライン



- 適応ベースラインの評価：
 - 現在の気候関連ハザードとリスクについて、理解を深める
 - 地域の脆弱性と地方自治体の公共事業との関係性に焦点を当てる
 - ビジネス事例を創造する

将来の影響やリスクを評価するには、現在の脆弱性のレベルを理解することが重要である。

地方自治体適応戦略策定ガイドライン



• 将来的な気候の影響、脆弱性およびリスクの特定：

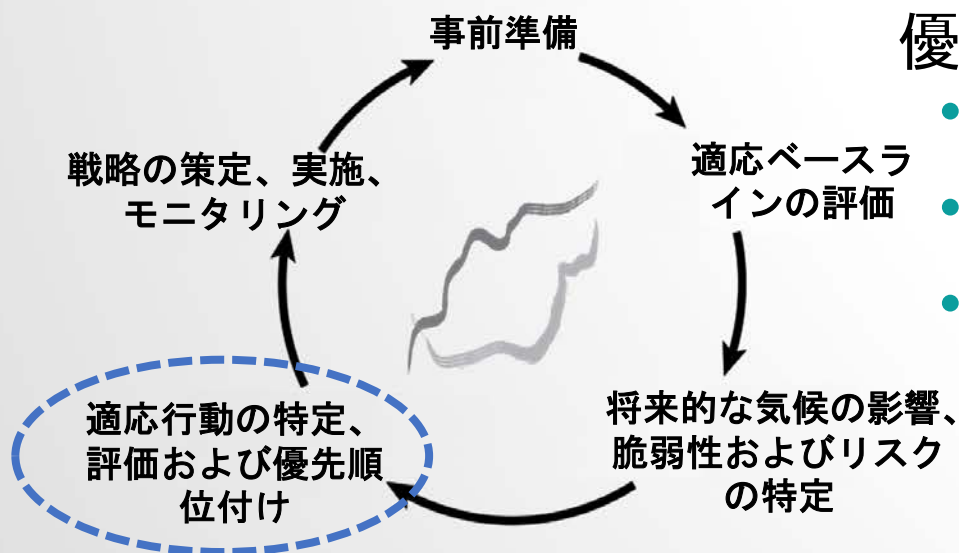
- 現在の理解に基づく将来の脆弱性の評価
- 不足している情報はないか？
- リスク登録簿の作成（地域計画策定時に参照）

将来の影響とリスクの評価は、新しい/現れつつあるリスクにも注意しながら、現在すでに影響を受けているものから取り掛かること。

地方自治体適応戦略策定ガイドライン

● 適応行動の特定、評価および優先順位付け：

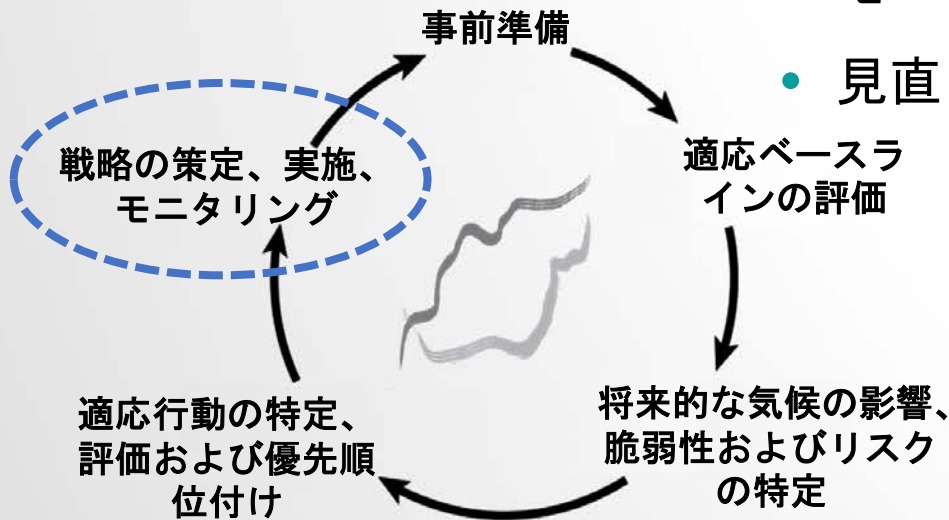
- ゴール（長期的）と目標（連続性）
- 短期的に達成可能な行動の特定
- 能力の構築と適応行動の実行



長期的な気候変動適応を実装しつつ、現在の気候リスクにも対応できる能力を構築するような適応オプションを探すこと。

地方自治体適応戦略策定ガイドライン

- 戦略の策定、実施、モニタリング：
 - モニタリングと評価
 - 見直し



将来の不適切な適応を避けるには、
適応行動のモニタリングと評価が不可欠である。

気候に関する施策の発展と経験の蓄積

- 気候変動適応は反復的なプロセスである
- ユーザーのニーズを理解し準備しておくためには、中央政府と地方自治体との協働が必須である
- クライメート・アイルランドは、以下のプロセスを通じて、意思決定者をサポートしている
 1. 意識の向上
 2. 情報とデータの提供
 3. 意思決定の支援





ありがとうございました



<http://www.climateireland.ie>



b.odwyer@ucc.ie



[@ClimateIreland](https://twitter.com/ClimateIreland)

